

H：知的所有権の取得状況

なし

資料1：事前アンケート用紙

様

この度は里子さんをお育ての毎日について、お話いただくことをご了承いただきまして、まことにありがとうございます。

お目にかかる前に、基本的なことについてはアンケートの形でお聞きしておいて、当日はそれをもとに、もう少し詳しくお話しを伺えれば、多少時間も短くて済むと思われれます。

私たちの関心は、里親をしておられる方々の毎日が、いかにご苦労の多いものか、またその中で、とりわけ虐待を受けたお子さんがおられたら、その大変さや、18歳(20歳)になって自立されて、現在のご様子(お仕事その他)も、お伺いできればと思っております。

お手数ですが、この用紙にご記入の上、封筒に入れてご返送ください。できればご記入は、里母の方をお願いできればと思いますが、里父の方でも結構です。

また、さらにおたずねしたいことが出てきた場合のために、お差支えなければ、ケータイの携帯電話を、最後にお書きいただけますか。以下で書きにくい部分があれば、飛ばしていただいても結構です。

お聞きする内容は、純粹に里親・里子問題の理解の資料とするため、他に洩らすようなことはありませんので、ご安心下さいますように。

またスペースが小さいときは、欄外や裏にお書きいただいて結構です。丁寧に読ませていただきます。

深谷昌志(東京成徳大学名誉教授)ケータイ番号

深谷和子(東京学芸大学名誉教授)ケータイ番号

(I)初めに里親さん(あなた)のことについて、お聞かせください。

1)あなた(里母さん)のお名前()

*場合によっては、里父さんでも結構です。

ご記入者 (1.里母、2.里父)○をお付けください

以下は、いちばんあてはまるところに○をお付け下さい。

2)里母さんのご年齢 (30代、40代、50代、60代かそれ以上)

お仕事 (専業主婦、自営業、お勤め、その他)

里父さんのご年齢 (30代、40代、50代、60代かそれ以上)

お仕事 (お勤め、自営業、その他)

3)現在同一建物にお住まいのご家族

①おじいちゃん、おばあちゃん (祖父母とご一緒なら○をお付け下さい)

②里子さん(歳、 歳、 歳)、計()人

③実子さん(歳、 歳、 歳、 歳)、計()人

現在()人家族

4) ご自分のお子さんをお育てになった(今、育てている)ご経験

(1.ある* 2.ない)

*実子さんの現在のご年齢は(自立され、外にお暮らしの方も含めて)

→()歳、()歳、()歳、()歳 計()人

(3カ月以上育てられた)里子さん(養子さんも含む)の現在のご年齢は

*すでに自立された、または手離した方、委託解除も含めます

計()人

他に短期委託 ()人

(II) 現在委託されているお子さんについて(仮にAちゃんとして)お聞かせください。

*現在、複数の里子さんをお育ての場合は、一番「里子期間」の長い方をAちゃんとしてください。

(報告書用注1)当初は小学生をAとした

1) Aちゃんは現在 ①年齢()歳 性別(1.男 2.女)

②年齢段階 (○をおつけください)

(乳児・幼児・幼稚園生・小学生・中学生・高校生・大学や専門学校かそれ以上)

小学生以上の場合は、()年生

③委託されたのは()歳の時から現在迄で、約()年間

④Aちゃんと養子縁組を

(1.希望している 2.希望していない 3.まだ分からない)

2)なぜAちゃんを預かろうと思われたのですか。またご家族(ご親戚)の中で、ご反対(ためらわれたり、心配されたり)はありましたか。ご自由にお書き下さい。

3) Aちゃんが家に来られて、初めの3か月位まで、戸惑われたことがありましたか。または予想したより、ずっと大変だった事は何でしたか。

4)では、現在「とても大変」な事は何ですか。ご自由にお書き下さい。

5) Aちゃんの現在の健康や発育について気になっていることがおありですか。(厳密に同年齢位の子どもの比較でなくとも、「何となく、そんな感じがする」位で結構です。

(報告書用注2 当初は委託時の状況もたずねていた)

以下(1.とてもそう 2.わりとそう 3.少しそう 4.あまりそうでない 5.違う)のどれかに○をおつけください。

①よく風邪をひく (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)

②よくお腹をこわす (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)

- ③身長がちいさい (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ④やせ過ぎている (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑤太り過ぎている (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑥偏食が多い (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑦小食(食欲が無い) (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑧食べ過ぎる (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑨運動神経が鈍い (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑩睡眠が浅い(すぐ目覚める) (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑪便秘がち (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑫夜尿がある (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)

<その他、健康などについて気がかりなことがあれば、お書き下さい>

6) Aちゃんの現在の性格について、気になっていることは何ですか。

同年齢位の子と厳密に比較してではなく「なんとなく気になっている」程度で結構です。

- ①わがまま(自分勝手) (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ②おちつきがない (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ③甘えたがる(べたべた) (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ④すぐ泣く(めそめそ) (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑤素直でない(強情) (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑥性格が暗い (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑦人みしりが強い (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑧小心(気が小さい) (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑨言葉が乱暴 (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑩感情の起伏が激しい (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑪何となく無気力 (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑫人に心を閉ざす (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑬劣等感が強い (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑭他人に警戒心が強い (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑮パニックを起こす (1.度々 2.時々 3.たまに 4.あまり 5.1度もない)
- ⑯すぐ暴力をふるう (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑰よく嘘をつく (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑱よく約束を破る (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑲反省心がない (1.とても 2.わりと 3.少し 4.あまり 5.違う)
- ⑳物やお金を盗む (1.度々 2.時々 3.たまに 4.あまり 5.1度もない)

<その他性格や態度等で気にかかることがおありでしたら、ご自由にお書き下さい>

7) Aちゃんが小学生か、それ以上の場合にお答えください。幼児の場合などは9へ)

- ①成績は (とてもよい、中の上、中、中の下、下)
- ②得意な科目 ()
- ③苦手な科目 ()

- ④勉強は好きですか(1.とても嫌い 2.やや嫌い3.ふつう4.やや好き5.とても好き)
- ⑤学校へ行くのは (1.とても嫌い2.やや嫌い3.ふつう4.やや好き5.とても好き)
- ⑥宿題は、言われなくてもしていますか
(1.なかなかしない2.言われるとする3.言われなくても大体する 4.自分からする)
- ⑦学校のお友だち関係は(1.とてもいい 2.わりといい 3.ふつう 4.あまりよくない)

<学校やクラス、成績のことで何かご心配がおありでしたら、ご自由にお書き下さい>

8) あなたが、Aちゃんについて、今一番気にしていること、困っていること、心配していることは何ですか。ご自由にお書き下さい

9) 子どもを何人が育てたお母さんは、その中でも、何となく気が合わない子と、気の合う子が出てくるものだと言われます。あなたは、Aちゃんにどんな感じをお持ちですか。

- 1.Aちゃんとは、何となく、気持ちが通じ合わない
- 2.Aちゃんと、時々、気持ちが通じないと思うことがある
- 3.Aちゃんと、わりと気が合っている
- 4.Aちゃんと、とても気が合っている

このことについて、もし何かご感想のようなものがあれば、お書きください。

10)最近の親は、しつけをする時に、子どもを叱らない傾向があると言われます。あなたはAちゃんをしつけるときに、叱るのを遠慮することがありますか。

- 1.自分が思ったことには、そのつど遠慮せずに叱っている
- 2.里子であることを考えて、あまりきつく叱らないようにしている
- 3.叱りたいことがあっても、できるだけ叱らないようにしている
- 4.いつも叱るのを我慢している

11) Aちゃんを育てている時の悩みについて、どなたかに相談されましたか。

(○はいくつでも結構です)

- 1.自分の親 2.夫の親、3.親戚 4.隣近所の人 5.自分の友だち 6.里親会の仲間
- 7.担任、 8.児相の職員 9. (教育)相談室 10.その他()

その中で、いちばん頼りにしている人はどなたですか。上の項目のうち、

1つか2つに◎をつけてください。

12) 委託されてから児相などに、Aちゃんのことでもカウンセリングを受けに通われたことがありますか。

①親のカウンセリング

(1.長期間通った(ている) 2.何度か受けた 3.受けたことがない)

②Aちゃんのカウンセリング

(1.長期間通った(ている) 2.何度か受けた 3.受けたことがない)

13)最後に伺います

1.Aちゃんが施設に預けられたのは

①片方、または両方の親が亡くなったり、病気になったり、また育てられなくて

(1.はい 2.いいえ 3.わからない)

②親から虐待(育児放棄を含む)を受けて(1.はい 2.いいえ 3.わからない)

③その他(あれば、ご自由にお書きください)

2.この中で、②「虐待を受けて」と答えられた方に伺います。

Aちゃんの受けた虐待の影を感じられるのは、どんな時や場面ですか。お感じになったままをお答え下さい

3.虐待を受けた子どもだと、児相から委託された時、どの程度詳しく知らされましたか。

①かなり詳しく説明された ②少しだけ説明された ③殆ど知らされなかった

4.現在、里子としてお育てのAちゃんを、途中で委託(措置)解除にして、児相に戻すことを考えたことが、おありでしたか。3つのうちから一つに○をお付け下さい。お答えになりにくかったら、飛ばして結構です。

①何度もあった

②1.2度あった

③1度もない

5.どんな時に委託解除を考えられたのですか。できれば詳しくお教えてください。

<長いこと、ありがとうございました>

もしケータイ番号をお教えいただけるようなら、お願い致します。

() ()

() (里母・里父)所有

なお、また後日に2回目の簡単なアンケートをお送りさせていただくかもしれませんので、その際も、よろしくお願ひ申し上げます。

資料2：補足アンケート用紙(事後)

<補足アンケートのお願い>

お忙しい中を、まことに申しわけありませんが、補足アンケートをお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

1) 里子さんを引き受けられてから、これが里親さんの間でよく話題になる「試し行動」だと感じられたことがおありでしたか。○をお付け下さい。

- ①あまり気がつかなかった
- ②多少あったが、すぐ終わった
- ③ある期間、確かに続いた
- ④とても大変だった

→③④と答えられた方は、どんな状態だったか、引き受けてどのくらいして始まったか等をお聞かせ下さい。

2) 「固まる」という言葉を、里親さんたちから聞くことがありますが、どんな時に、どのような状態になるのか、出来るだけ詳しくお聞かせ下さい。

3) 「里子を育てる大変さ」とは、子どもの世話が大変というよりも、「心がつながらない(気持ちを通い合わない)子」を育てることが大変なのだ」と言われた里母さんがありました。あなたは里子さんを世話しておられる時に、そのように感じることはありますか。○をおつけください。

- ①しょっちゅう、そう感じている
- ②時々、そう感じることもある
- ③あまり感じたことはない
- ④全く感じたことはない

4) 「愛着障害」という言葉があります。あなたはAちゃんの中に、「愛着障害」があった(まだ残っている)と思われますか。○をおつけください。

- ①全然なかった(気がつかなかった)
- ②少しあったが無くなった
- ③今も少し残っている
- ④今もしっかり残っている
- (⑤「愛着障害」の言葉の意味がよくわからない)

5) 18歳以後のAちゃんの(社会的)自立は、うまくいきそうだとお考えですか。

- ①普通の青年並みに自立できると思う
- ②まあ何とか自立できるだろう
- ③ちゃんと自立ができるかを、やや心配している
- ④ちゃんと自立ができるかを、非常に心配している

→③④ご心配があるとお答えの方に

どんな点でご心配がおありですか。具体的にお書き下さい。

6) お話の記録を(十分な匿名性に配慮しながら)報告書に収録することについて、何かご意見などがありましたら、どうぞご自由にお書き下さい。

ありがとうございました。下記にもご記入ください。

記入者のお名前 ()

(里母・里父) 1方に○を

ご協力まことにありがとうございました。
同封の封筒で○月○日末までにご投函下さい。

資料3：事例原稿の報告書収録 諾否用紙

〇〇さま

このたびは、事例お原稿の修正をありがとうございました。ご指摘の個所について、打ち直しました原稿を同封させていただきました。これでよろしいようでしたら、重ねてのお願いですが、文章での報告書収録のご承諾をいただきたく、下記にご承諾の〇とサインをお願いできますか。またさらに修正が必要な個所がありましたら、どうぞお申し出ください。

----- キリトリセン -----

1) 記入者のお名前 ()

(里母・里父) 1方に〇を

2) 別紙の「事例記録」(無記名)を報告書へ収録させていただくことについて

①収録してもいい

②収録は(無記名でも)困る

一方に〇をお付けください。

お手数ですが、〇月〇日までに、この用紙を同封の受取人払いの封筒に入れて、ご投函下さいますようお願い申し上げます。

なお夏前には、出来上がり次第事例集の収録された報告書をお送り申し上げます。

ご協力まことにありがとうございました。

お元気でお過ごし下さいますように。

平成〇年〇月

深谷昌志・深谷和子

ケータイ番号 ○○○○ ○○○○

資料4：収録辞退の理由(里親より)

<資料4-1>

「この度はいろいろお話を聞いていただき、ありがとうございました。先生とお話する中で、私自身、養育について様々なことを考えることができました。そう言った意味で、今回のインタビューは社会的にはもちろん、私個人にとってもおおいに意味あることだったと思います。

ただ、お送りいただいたような事例にしてしまうと、どうしても私がお話した真意とはかけ離れてしまっているように思えてしまいます。

里子を育てることは、未熟な私にとってはとても困難で、時には苦しいものでした。子どもの行動も複雑で、慣れるまでは理解できないこともしばしばでした。

しかしこの事例の文章のように、断定的に書かれてしまうと、どうしても違和感を感じずにはいられませんでした。

たとえば「可愛げのない子」と言う表現。これは一般的にはそう思われがちな行動が多いということでも、私自身がそう思っていたわけではありません。子どもについての否定的な行動の表記も「感情の起伏が激しく――暴力をふるう」というふうに書かれてしまうと、トンデモナイ行動のように見えてしまいますよね。(中略)これ以外でも赤字を入れさせていただいているのですが、そこを直していただいたとしても、内容の違和感がなくなるのかどうか、これが真実の事例と言えるのかどうかは非常に不安を感じています。

せっかく機会を与えていただいたにも関わらず、こんなことを申し上げるのは本当に心苦しかったので、このようなお手紙を添付させていただきました。本当に申し訳ないのですが、今回の事例の収録はお断りさせていただきます。ご迷惑をおかけした申しわけございません。なにか別の形でお手伝いできることがあれば、今後とも協力させていただきたいと思っております。どうかご容赦いただき、ご了承いただきますように、お願い申し上げます」

<資料4-2>

「申しわけございませんが、今回の事例掲載は辞退させていただきたく、お願い申し上げます。長いこと里親をやってきて、思いのたけをお話させていただきましたのですが、お送りいただいた原稿を読み返しましても、大変な十字架を背負った子どもを育てることの大変さ、しかしそれでも成長していかなければならない子どもたちの現実。子どもに恵まれなかった私は、どうしても子どもを育ててみたいと軽い気持ちで申し込んでみたものの、被虐待児を育てることの大変さは、言葉では言い表すことのできないものでした。

子育ての力もなく、微力の上、不調になった時の児相福祉司さんの心ない強権的な態度に、心が傷つきました。里親としては、絶対に不調にはなってはならないと思ってはいても、どうにもならないことがあるのですが、その辺のところを児童福祉司さんにはお分かりいただけないようでした。実際に福祉司さんが被虐待児を育てて下さっていたら、理解していただけるかもしれません。

くこうした大変さを記したら、後に続く里親さんがいなくなってしまうのではと言う思いから、辞退を決意いたしました。

それでもこの頃、福祉司さんの里親理解は大分深まって来たような感じもします。これからの里親制度を期待感をもって見まもっていきたいと思います。でもやはり、里親制度はあくまでも子どものための制度で、里親のための制度ではないこと。子どもを預かり育てていくことの大変さから、つい福祉司さんに愚痴を言ってしまって、子どもを取り上げられた里親さんもいると聞いています。里親をフォローする機関があってもいいのではと思います。児相へ行って、

子どもの相談などできるわけありませんが、児相とは別に小さい窓口で、里親相談所があればいいのと思います。

以上まとめませんが、ご理解いただきたくお願い申し上げます」

<資料4-3>

「(以上) 最小限の子どもたちのことを紹介させていただきました。その他の事例や詳細は、記載を辞退したいと思います。今回、子どもたちのことを記載することを認識していませんでした。子どもたち*に、改めて説明をしましたが、心よりの『承諾』は得られませんでした。申しわけありません。子どもたちの意見を尊重して行きたいと思います」

*筆者注 小1～高3まで数人

資料5：事例タイトル一覧

- 勉強より人生で食べていく術を習得させたいという里父
 - 20人の里子を預かった日々の中から
- 里子のために主夫をする里父の日々
 - 18歳過ぎた後のことを本人は心配していないようだが
- 「自分」という存在を人に知ってほしかった子
 - 現在は「(明るい)不登校」
- 「助けて下さい」と玄関で叫んだ子
 - 今は「不登校」から抜け出して高校進学先も決まる
- 次々と自立して行く里子たち
 - 何かの縁で結ばれた運命共同体だが、もっと福祉施策の充実をと語る里父
- この子にとって適切な成長環境は、家庭か施設か
 - 「子どもに伝えたいこと」を養育家庭の中でと里親になったが
- きょうだいの里子間に生まれた愛憎の葛藤
 - 血のつながった兄弟だから、すぐ弟を受けいれると安易に考えていたが
- きょうだいを預かる特別な難しさ
 - 3組のきょうだい里子を育てた日々の中で
- 手に負えない盗癖と3年半苦闘した末に委託解除された里親の心情
 - 様々な行動改善プログラムの試みと神への「祈り」もむなしく
- 学校や地域から「どうしてこんな行動をするの？」と質問せめ
 - 性的虐待を受けた子を預かって
- 家庭より施設のほうが安定する子？
 - なおも残る愛着形成上の問題
- 知的障害児だった里子が自立して
 - 就職後も休みのたびに里親宅に泊まりに帰ってくる子
- 実家と違う里家のしつけ環境に適応できなかった兄妹
 - 妹が父の家に戻って里家での役割を失った兄の家出
- 「天使が来た」と言った里父
 - 虐待か事故だったかは不明の短期の里子
- うちとけない里子に家族からの反発が出始めて
 - 実母への思いが強すぎた子
- 家事分担に責任をもたせると「この家に居ていいんだ！」と思うようになる
 - 里子の将来を見据えてしっかり育てている里母
- 「僕なんか死んでしまえばいいんだ」という子と暮らす
 - 子育てについて話し合い、助言してもらえる場がほしい
- 知的障害児と知って受託したが予想外に難しい展開
 - 自立が難かしければ養子にすることも考える里親
- 「発達障害では」と言われた子との苦闘の日々
 - 共働きの中で里子を育てる里母
- 無表情の子が里親の翼の下で自分を取り戻す
 - 苦労も喜びも一つの記録に残して伝え合っていきたい
- 里子間に起きる嫉妬に配慮しながら
 - ファミリーホームの中で

- 小3迄の荒れた行動も落ち着いて「25歳迄この家に居る」と言う15歳
 - 共働き家庭で塾と学童クラブに通わせながらの子育て
- 自立が危ぶまれる子、すでに自立した子、措置解除された子
 - 5人の里子を預かる中で
- 里母が体調を崩して措置解除
 - とても理解のできない里子の行動の数々に家族も揺れる
- 里父の熱い心に応えてくれる日を待ちながら
 - 交流期間中にいつも泣き続けていた2歳児
- 重症心身障害児を預かって
 - 生後4か月の乳児と面会して「何かの縁だと思う」と言った里父
- 子どもと波長が合わない里母の中にあった未解決の課題
 - それに気づいてから子育てが少し楽になる
- 幼稚園ではしっかり者だが鬼と暗闇を怖がる子
 - ことさら激しかった「試し行動」を乗り越えて
- 今日失敗したことが明日につながらない
 - 叱られると心を閉じて、何を言ってもはねつける子との日々
- 早く「本物の親」になろうとした里母の努力と迷いの日々
 - 3人の里子の人格形成に落とす虐待の影もさまざま
- 「阿弥陀のように、慈悲深く見てくれ」と言う里父
 - 5人の里子を預かって
- 学級崩壊の核になった子
 - もう少し学校が弾力的な対応をしてくれたら

国内の里親支援機関事業の実施状況に関する研究

研究分担者 平田美智子

研究協力者 三輪 清子 山口 敬子 小松満貴子

研究要旨：

里親支援機関事業は、従来の里親支援事業と異なり、事業の一部または全部を児童相談所以外の民間機関などに外部委託できる特徴を持つが、この事業の実施状況と課題に関して、全国の自治体に2011(平成23)年11月、アンケート調査(郵送)を行った。調査結果から、「里親支援機関事業」は88%の自治体で実施されており、事業の児童相談所以外への外部委託も60%の自治体で推進されていることが確認された。

外部機関への委託が困難な理由には、委託したいが具体的に適切な民間機関がないこと、予算措置が不十分であること、自治体の一般財源の確保が困難なことなどが挙げられた。里親支援の困難点としては、児童相談所の職員が多忙なこと、年長の子どもの里親委託が難しいこと、などが挙げられた。

今後は、十分な予算措置を行い、年長児のケアのできる里親を支援していくバックアップ体制、里親支援を行う支援員の養成が急務となることが示唆された。

A. 研究目的

里親委託を推進し、里親家庭を支援する「里親支援機関事業」(資料1)は2008(平成20)年から実施されているが、実際には2010(平成22)年度までは、旧事業である「里親支援事業」が経過措置として同時進行で実施されており、新規事業である「里親支援機関事業」の実施状況や成果を十分に把握するのが困難であった。

「養子と里親を考える会」では、2009(平成21)年に全国の自治体対象に「里親支援機関事業」の実施に関してアンケート調査を行ったが、回答の中には新事業と旧事業の区別が明確でなく、新事業の課題などを正確に分析することができなかった。

この「里親支援機関事業」の実施主体は都道府県・指定都市・児童相談所設置市であるが、事業の一部、または全部を社会福祉法人やNPO等の民間機関へ委託することが可能に

なるなど、里親支援がより効果的に実施されるように運用していく事業である。特に、民間機関への外部委託に関し、実施状況と課題を模索するのが本研究の目的であった。

まず、2011(平成23)年度から一本化された「里親支援機関事業」の実施状況や課題などを把握し、2年前の調査(「養子と里親を考える会」と比較するのが研究の第一の目的である。第二には、里親支援機関事業の外部委託が困難であるという理由を明確にすることである。第三に、里親委託推進委員の資格・経験に関し、実際の運用を確認し、今後の人材養成などを示唆することである。

B. 研究方法

2011(平成23)年11月、アンケート調査質問紙を全国都道府県・政令指定都市・中核市計67か所の児童福祉主管課に郵送で送付した(質問紙は資料3参照)。アンケート調査実施

に関して、調査結果を本研究の報告書などで公表することと、公表の際は回答結果に自治体名などが特定されないように配慮すると明記した。

2012（平成24）年1月末までに、59か所の自治体から郵送やFAXで回答を得た（回収率88%）。2012（平成24）年1月より、アンケートの回答結果を集計し、2月に分析を行った（資料2参照）。

C. 研究結果

資料4の「2011年度『里親支援機関事業に関する調査』の集計結果まとめ」に沿って説明していく。

①里親支援機関事業の実施率に関しては、59か所中57か所が実施しており、実施率は97%であった。前回（2009年）調査に比べ、37%増加していた（資料2参照）。

②事業を児童相談所以外に委託しているかという問いに対しては、今回の調査では専門里親研修（ほとんどの自治体が母子愛育会に委託している）の外部委託を除いたため、外部委託が56か所中34か所（前回調査20か所）で60%であった（資料2）。

③外部の委託先は、里親会が28（前回調査10）、児童家庭支援センター9（前回調査3）、児童福祉施設9（前回1）、NPO法人5（前回1）と、前回調査よりどの分類でも数が増加していた（資料2）。

外部委託していない自治体に理由を聞いたところ（資料4の表2）、委託できる民間機関がない（11）が最も多く、次に児童相談所で十分実施できる（7）という回答であった。また、この里親支援機関事業に関する周知が十分進んでいないことを理由に挙げる自治体もあった（5）。

④具体的に里親支援機関事業の実施状況について聞いたところ、里親制度普及促進事業（普及啓発、養育里親研修）に関しては、県（市）、児童相談所、里親会、民間里親支援機関が協働で取り組んでいた（資料4、図1）。

一方、図4にあるように、里親委託推進・支援等事業（里親委託支援等・里親等への訪

問支援）は、60%近くが児童相談所のみで行っており、民間機関に委託されるのは少数であった。また、里親委託推進・支援等事業の中の、里親等による相互交流に関しては、里親会への委託が32%で最も多く、次いで児童相談所（26%）であった（図6）。

⑤「里親委託推進員」（質問3-1）を配置している自治体は31で、配置先は児童相談所が22であった。里親委託推進員の人数は、1名が21自治体（31の自治体のうち）であった（表3）。推進員の資格は、図7に示されるように、88%が有資格で、その内訳は最も多いのは社会福祉主事・児童福祉司で20%、保育士・児童指導員が18%であった。教員免許（幼稚園教諭含む）が15%、社会福祉士・精神保健福祉士が14%であった（図8）。

里親委託推進員の実務経験に関しては、図10にあるように、児童福祉施設等が34%、児童相談所などが20%で児童相談所のOBも含まれる。推進員の雇用形態であるが、常勤は14%のみで、ほとんどが週4日（44%）から2・3日（18%）の非常勤雇用であった（図11）。

⑥「里親委託推進委員会」（図12・13）は約70%の自治体が設置しており、委員会開催は年1回（32%）、2回（30%）が多く、活発ではなかった。

⑦里親支援機関事業の外部委託の費用（質問4）であるが、委託費の平均は約330万円であった。

⑧里親支援全般（質問5）について、課題となる点を複数回答で挙げてもらった結果は、表4に示されるように、児童相談所職員が多忙で里親関係の業務に関われない（26）、年長の子どもの里親委託が難しい（22）、里親支援を行うための予算・人材などが不足している（17）などであった。

D. 考察

里親支援機関事業はほぼ全部の自治体で実施されており、自治体の60%が民間機関へ外部委託しているが、里親の普及促進などが主で、個々の里親家庭への支援という里親委託推進・支援等事業の外部委託はあまり進んで

いなかった。これには、委託できる専門的な外部機関が不足することと、児童相談所が民間機関と連携することが困難なことが背景にあると思われる。

里親委託推進員は半分の自治体で配置しており、有資格・経験者が多いが、児童養護施設などで保育士・児童指導員として勤務していた経験者が多いと推測される。推進員は非常勤が多く、今後継続した支援を里親家庭に提供するには、推進員の配置先や周りの支援体制などが欠かせない。

最後に、里親支援に関する自治体の回答の中にもあったように、里親支援を行うには現状の児童相談所のみでは無理であり、積極的に外部委託する必要がある。そのためには、里親支援を行う民間機関の発掘、人材の養成が急務であり、政府はそれを可能にする予算を用意する必要がある。さらに、里親支援の中身に関して、年長児の里親委託が難しい、との回答が多かった。里親支援のニーズは、委託直後より、委託児童が思春期になる時の方が大きい。今後は、本研究の全体のテーマである治療的ケアのできる里親養育をめざし、里親推進員など支援する側の資質向上や支援体制の拡充が求められる。

今回の調査の回答にもあるように、里親支援機関事業の外部機関への委託費が平均330万円であり、これでは必要な支援ができない。また、自治体は一般財源の確保が難しく、里親支援事業を実施することが困難である。こうした、予算面での手厚い配慮が里親支援事業には求められる。

E. 結論

日本の里親支援機関事業の実施状況を調査し、里親支援の方向性が見えたものの、十分な予算措置がなされていないため、民間機関によるきめ細やかな里親支援は実現に至っていない。今後は、里親支援に人的・財政的支援を行い、年長児の治療的ケアもできる里親を支援する専門職の養成、児童相談所と民間機関のバックアップ体制が求められる。

D. 研究発表

本調査研究結果は、2012(平成24)年度日本社会福祉学会などの場で発表する予定である。

〈資料1〉里親支援機関事業

【事業の目的】

保護を要する子どもに対し、より家庭的な環境において、愛着関係の形成を図ることができ
る里親委託を促進するために、里親支援を総合的に実施すること。

【事業の実施】

2008年度～（旧事業である里親支援事業は2010年度までの経過措置であるため、新規事業で
ある里親支援機関事業には2011年度から完全に移行した）。

【実施主体】

都 道府県・指定都市・児童相談所設置市。事業の内容の全部または一部について、社会福祉
法人・NPO等の民間機関への委託ができる。

【事業内容】

1. 里親制度普及促進事業

①普及啓発：里親経験者による講演会や里親制度の説明会等、里親制度の広報活動を行い、新
たな里親開拓、養親希望者の開拓を行うこと

②養育里親研修：基本的な知識や体験実習を行うことでの児童理解、技術の習得などその資質
の向上を図ることを目的とした研修を行うこと

③専門里親研修

2. 里親委託推進・支援等事業

（実施にあたり、里親委託推進委員の配置、里親委託推進委員会の配置を行う）

①里親委託支援等：里親と子どものマッチング等を含む里親に子どもを委託するための支援

②里親家庭への訪問支援：里親家庭に定期的に訪問する、里親と援助機関をつなげる等

③里親による相互交流：里親サロンなどを実施する。

【事業に関する国の助成】

1. 里親制度普及促進事業：1 都道府県あるいは指定都市、児童相談所設置市あたり、最高
額で396万3千円を国と自治体で1/2ずつ負担。

2. 里親委託推進・支援事業：1 か所あたり、最高額で742万4千円を国と自治体で1/2ずつ負担。

【事業の特徴】

*児童相談所が担ってきた里親関連の業務を民間機関へ委託することが可能となった

【参考文献】厚生労働省雇用均等・児童家庭局長.2008.「里親支援機関事業実施要綱」

〈資料2〉里親支援機関事業の実施状況等について(まとめ)
 ——2009年度調査と2011年度調査の比較——

回収率：2009年度調査(「養子と里親を考える会」) 約74%
 2011年度調査(本件研究) 約88%

現在、里親支援機関事業を実施していますか		
年度 \ 回答	はい	いいえ
2009年度調査	28(60%)	19
2011年度調査	57(97%)	2

事業を児童相談所以外に委託していますか		
年度 \ 回答	はい	いいえ
2009年度調査	20(71%)	8
2011年度調査	34(60%)	22

事業の形態		
年度 \ 回答	全部委託	一部委託
2009年度調査	3	17
2011年度調査	該当回答欄なし	

委託先内訳(複数回答)					
年度 \ 回答	児童福祉施設 付設機関	児童家庭支援 センター	NPO法人	里親会	その他
2009年度調査	1	3	1	10	9
2011年度調査	9	9	5	28	6

〈資料3〉調査票

厚生科研費補助金調査(被虐待児を養育する里親家庭の民間の治療支援機関の研究プロジェクト)
 里親支援機関事業に関する調査票(関係官庁宛)

現在、貴県(市)で進めている里親支援機関事業について、以下の質問にお答えください。

1. 現在、里親支援機関事業を実施していますか。 はい いいえ(理由:)

2. 1の質問で「はい」に○をされた方にお聞きします。

2-1) 貴県(市)での里親支援機関事業を部分的にでも開始したのはいつですか? 年 月

2-2) 実施に関して、事業(専門里親研修を除く)を児童相談所以外に委託していますか? はい いいえ

2-3) 2-2の質問で、「いいえ」に○をされた方はその理由について教えてください(複数回答可)。

- ア) 児童相談所で十分実施できるため
- イ) 里親委託をあまりしていないため
- ウ) 里親支援機関事業についての周知が進んでいないため
- エ) 民間機関で里親支援をするという想定がないため
- オ) 委託できる民間機関がないため
- カ) その他()

2-4) 以下の事業のうち平成23年度現在実施しているものに○を、実施予定であるものに△を、平成23年度中に実施予定のないものに×を、それぞれの機関ごとにご記入ください(複数回答可)。

表 I

委託事業種別		委託機関種別							
		①県(市)	②児童相談所	③里親会(協働実施可)	④児童(子ども)家庭支援センター	⑤児童養護施設	⑥乳児院	⑦NPO法人	⑧その他
1. 里親制度普及促進事業	①普及啓発								
	②養育里親研修								
	③専門里親研修								
2. 里親委託推進・支援等事業	①里親委託支援等								
	②里親等への訪問支援								
	③里親等による相互交流								

3. 表 I の 2. 「里親委託推進・支援事業」の実施体制について、○、または適宜数字をご記入ください。

3-1) 貴県(市)では、里親委託推進員を配置していますか? 県(市)全体として: はい いいえ
 各児童相談所に: はい いいえ

3-2) 3-1の質問で、「はい」と答えられた方にお尋ねします。里親委託推進員は何名ですか?

県(市)全体として: 名 各児童相談所に: 名

3-3) 里親委託推進員は、何らかの資格を持っていますか？実務経験はありますか？ はい いいえ

表Ⅱ

里親委託推進員の資格種別	里親委託推進員の実務経験の有(職種)・無	里親委託推進員の雇用形態
	有()・無	常勤・非常勤 週 日
	有()・無	常勤・非常勤 週 日
	有()・無	常勤・非常勤 週 日
	有()・無	常勤・非常勤 週 日

3-4) 里親委託推進委員会を設置していますか？ 県(市)全体として：はい いいえ
各児童相談所に：はい いいえ

3-5) 里親委託推進委員会の頻度を教えてください。 県(市)全体として：1年に 回
各児童相談所に：1年に 回

4. 表Ⅰに○と△をご記入された方にお尋ねします。

4-1) 具体的に機関の実施主体と機関名等をお書きください(専門里親認定研修を除く)。

表Ⅲ

表Ⅰの機関種別番号	機関名	委託事業	住所(連絡先等)	委託料	機関の選定方法
			()		
			()		
			()		

5. 里親支援について、貴県(市)では以下のどのような点が課題となりますか？(3つまで選んでください)

- ア) 里親になる人が少ない。 イ) 里親制度の普及や運用が難しい。
- ウ) 年長の子どもの里親委託が難しい。 エ) 里親への継続的支援が難しい。
- オ) 里親会との連携が難しい。 カ) 里親支援機関と児童相談所・県(市)との連携が難しい。
- キ) 里親支援を行う人材の育成が難しい。 ク) 児童相談所職員が多忙で里親関係の業務に関われない。
- ケ) 里親支援機関事業を委託できる機関が少ない。
- コ) 里親支援を行うための予算・人材などが不足している。
- サ) 里親委託を行う政策的誘導があまりない。
- ク) その他(具体的に：)

6. 里親支援機関事業の外部委託についてどう思われますか。該当するものに○を付けてください。

- ア) 外部委託する必要がない(県や児童相談所で十分である)。
- イ) 外部委託したいが具体的に機関がない。
- ウ) 民間機関に外部委託することを躊躇している。
- エ) 外部委託しても効果が望めない。
- オ) 里親支援機関事業を推進する予算が不足している。
- カ) 里親支援機関事業に関して、国の積極的な政策的誘導がなく、周知されていない。
- キ) その他()

お差支えなければ、県(市)のお名前と担当課についてお答えください。 県 課

ご協力ありがとうございました